

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和7年8月）

令和7年8月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

1. 高校生ボランティア・アワード2025 出場

2025年8月23日～24日に東京で開催された「高校生ボランティア・アワード2025」に参加してきました。今回は第10回の節目となる大会で全国から約200組の応募がありました。全国の高校生たちの日ごろの地道な活動を知り、お互いに称えあう趣旨の大会です。

先輩方が「白石踊800年の伝統を受け継ぐ会」として最初に参加したのが2019年の第4回大会でした。それがきっかけとなって、岩波ジュニア新書に掲載されました。その後も高校生ボランティア・アワードに出場した高校生たち取材したNHK番組出演、英語の教科書掲載にもつながりました。その大会が今回で第10回目なので私たちも張り切って臨みました。

今回は展示スペースをもらえるブース発表や電光ポスターで説明するサイネージ発表があり、私たちはブース発表でしたので、白石踊の説明資料を掲示したり、出版物を机の上に並べたりしました。今回の目玉として、おかやま山陽高校のITコースの仲間が、バーチャルアイドル白石舞をよみがえらせて来場者の動きをセンサーで読み取って白石舞が踊るというシステムを会場で実演してくれました。

堺ライオンズクラブ様から特別賞をいただき、大きな励みになりました。

この2日間の大会で私たちの継承活動や白石島を来場のみなさんにお伝えできました。また全国の仲間の活動を知る良い機会になりました。

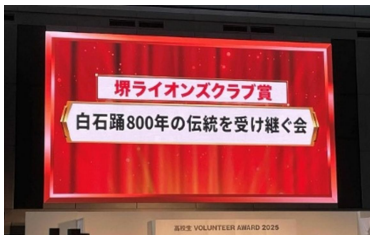


(1) 堺ライオンズクラブ賞

特別賞を堺ライオンズクラブ様からいただきました。

選考理由は「白石踊は、過疎高齢化に伴う後継者不足に悩んでいるとのこと。地域の深刻な課題に高校生が取り組んで解決していこうとする姿勢は称賛に値します。私たち、ライオンズクラブも地域の歴史・文化・伝統の継承に力を入れているので、是非、参考にしたい取り組みです。」とのことでした。

堺ライオンズクラブ会長の谷本順一様からトロフィーと副賞を手渡していただきました。
ありがとうございました。



(2) 「島の宝を守る」 著者来場

「島の宝を守る 白石踊 800 年の伝統を受け継ぐ若者たち」の著者 山本慎一さんが私たちのブースを訪れてくださいました。先輩たちが最初に参加した第4回高校生ボランティア・アワードの様子が岩波ジュニア新書に載っていますが、当時の編集長です。
今も時々白石島に来てくださいます。



(3) 報告文

令和7年8月23、24日の2日間東京で2025高校生ボランティア・アワードに「白石踊 800 年の伝統を受け継ぐ会」の一員として参加させていただき、とても貴重な経験になりました。会場では、全国各地でボランティア活動されている多くの仲間と出会い、お互いの思いや工夫を共有できたことがとても新鮮でした。また、自分たちと同じように地域を大切にし、未来へつなげようと努力している姿に刺激を受け、私たちの今後の活動への励みにしたいと思いました。

さらに、長年大切に守り伝えられてきた白石踊の取り組みを評価していただき、堺ライオンズクラブ賞という大変ありがたい賞を受賞することができました。驚きと共に、これまで支えてくださった地域の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験をきっかけに、白石踊を未来へと繋ぎ、地域の魅力をより多くの方に知っていただけるよう、これからも仲間と力を合わせて活動を続けていきたいと思っています。(文章：中山魁士)

(4) 新聞投稿文

令和7年9月9日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

笠岡市・白石島の白石踊は八百年以上続く国の重要無形民俗文化財で、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。しかし島の人口減少で後継者不足に直面しています。

私たち高校生は白石踊の練習だけでなく、広報的な活動にも取り組んでいます。7月に白石踊鑑賞体験ツアーがあった際には、私は島内の観光ガイド役として参加し、フランスから来た親子に月見踊を教え、一緒に踊った後に笑顔で「ありがとう」と感謝の言葉をいただきました。この体験を通して文化の力が人を結ぶことを実感しました。

また8月には「高校生ボランティア・アワード」に出場し、全国の仲間と交流できたことは大きな励みになりました。ありがたいことに「堺ライオンズクラブ賞」をいただき、今後の継承活動を続ける力となりました。白石踊をもっとたくさんの人に知ってもらい継承していくために、これからも挑戦を続けたいです。(文章：岡野日向子)

以上